

令和2年度第1回富里市水道事業運営協議会 会議録

- 1 開会年月日 令和2年7月16日(木)
開会場所 富里市水道事業所 会議室
開会時間 午後1時30分
閉会時間 午後2時00分

2 委員

職 名	氏 名	出欠の状況
会 長	内 田 三 十 四	出席
職務代理	山 田 照 好	出席
委 員	梁 田 富 郎	出席
委 員	宮 本 和 子	出席
委 員	戸 村 恭 子	出席
委 員	森 岡 眞 美	欠席
委 員	菅 谷 広	出席
委 員	藤 崎 富 雄	出席

出席者7名、欠席者1名

3 事務局

富 里 市 長 五十嵐 博 文
都市建設部長 相 川 裕 史
都市建設部上下水道課
課 長 川 口 英 樹
主 幹 小 笹 勝 巳
副 主 幹 並 木 義 昭
主 査 石 井 慎 一

4 会議に付した議題及び結果

- (1) 令和元年度富里市水道事業会計決算及び事業報告について
承認(可決)

5 審議の経過

開 会

(会長)

富里市水道事業運営協議会条例第6条第2項の規定により委員の過半数以上の出席がありますので、この会議は成立します。

ただ今から、令和2年度第1回富里市水道事業運営協議会を開会いたします。

市長挨拶

(市長) ～挨拶～

議 題

(1) 令和元年度富里市水道事業会計決算及び事業報告について

(会長)

本日は議題が1つでございます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

議題(1) 令和元年度富里市水道事業会計決算及び事業報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、令和元年度富里市水道事業決算につきまして、ご説明させていただきます。

令和元年度富里市水道事業決算書をご覧ください。

3ページをお願いいたします。

はじめに、事業報告書になりますが、1. 概況(1) 総括事項 イ 事業の状況につきましては、令和元年度の給水件数は、前年度比1. 15%増の1万7,642件、総配水量は前年度比1. 51%減の442万2,480立方メートル、一日平均配水量は前年度比1. 77%減の1万2,138立方メートルとなりました。

6ページをお願いいたします。

こちらの表は、業務量を前年度と比較し整理したのですが、項目の2段目の年度末給水人口は、前年度比0. 61%減の3万9,658人となり、その下の年度末給水件数は、前年度比1. 15%増の1万7,642件となりました。

表の中段でございますが、年間総配水量は前年度比1. 51%の減、その下の一日平均配水量は前年度比1. 77%の減となりました。

その2段下の年間総有収水量は、前年度比0. 06%の増、最下段の有収率につきましては前年度比1. 4ポイント増加の84. 2%となりました。

有収率の向上にあたっては、毎年度、地下漏水調査を実施し、漏水の早期発見、早期対応に努めているところではありますが、漏水調査区域外で発生する地下漏水などは、地表に現れるまでに時間がかかるものや現れにくいものもあり、発見が難しい状況ではありますが、有収率の向上を図ることは、水道事業を営む上で重要な課題でありますので、今後も配水管路の漏水調査を計画的に実施して、早期発見、早期対応に努めてまいりたいと考えております。

3ページをお願いいたします。

つづいて ロ 経理の状況についてでございますが、収益的収支は、事業収益が前年度比0.38%減の9億5,941万2,629円、事業費用が前年度比0.69%減の9億1,986万5,244円となり、その結果、当年度純利益は3,954万7,385円となりました。

8ページをお願いいたします。

こちらの表は、収益的収支の内訳につきまして、前年度決算額と比較した表でございます。

まず上の表（2）事業収入に関する事項についてですが、1段目の給水収益は、前年度比0.42%の増となりました。

給水件数が増加したことによるものと考えられます。

次に給水収益の3段下の他会計補助金につきましては、前年度比7.98%の減となりました。

その下の長期前受金戻入につきましては、固定資産の減価償却費のうち、補助金等で取得した資産の減価償却費見合い分を計上したものです。

次にその下の加入金ですが、前年度比10.25%の減となりました。

加入金の内訳についてですが、6ページをお願いいたします。

左上の表、ロ 加入金調定状況の表をご覧ください。

令和元年度は口径13ミリの加入件数が127件、20ミリの加入件数が、104件、25ミリが2件、30ミリが1件、合計で234件となりました。

前年度と比較しますと3件の減でございます。

8ページをお願いいたします。

上の表の（2）事業収入の合計は、前年度比0.38%減の9億5,941万2,629円でございます。

次に下の表（3）事業費に関する事項についてでございますが、大きなところでは企業債の支払利息が前年度比11.15%の減によりまして、合計は、前年度比0.69%減の9億1,986万5,244円となりました。

5ページをお願いいたします。

改良工事の概況としましては、配水管更新工事を実施し、石綿管の更新を行いました。

また、浄水場施設更新工事を実施し、老朽化した受変電・計装設備等の更新を行いました。

工事内容については、記載のとおりでございます。

なお、詳細につきましては、後ほど担当からご説明いたします。

9ページをお願いいたします。

下の表（２）企業債の概況についてですが、令和元年度の借入高は１億５千万円、当年度償還高が１億２，４１９万１，０６０円で、令和元年度末の借入残高は１５億７，９４０万８，５８９円でございます。

１２、１３ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出についてでございますが、上の表、資本的収入の決算額は、１億７，１７８万８００円でございます。

内訳は、企業債、分担金及び負担金、出資金、寄附金でございます。

下の表、資本的支出でございますが、決算額は３億９，５４１万５，７１９円となりました。

内訳は、建設改良費と企業債償還金でございます。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんいたしました。

１６ページをお願いいたします。

令和元年度富里市水道事業剰余金処分計算書（案）でございますが、令和元年度の未処分利益剰余金は、１億６，３５４万７，３８５円となりました。

この処分につきましては、令和元年度に減債積立金から企業債の償還に充てた１億２，４００万円を資本金へ組入れ、令和元年度の純利益、３，９５４万７，３８５円を減債積立金に積立てることを議案として９月議会に提出する予定でございます。

１７ページ以降につきましては、法令により添付を義務付けられている附属書類並びに明細書でございます。

説明は以上でございます。

続きまして、先ほどの工事内容につきまして担当から説明させていただきます。

令和元年度の事業につきまして、ご説明させていただきます。

お配りしてあります工事箇所図の１枚目をご覧ください。

まず、浄水場内の工事でございますが、平成３０年度に引き続き、富里市浄水場他施設更新工事のⅡ期目を実施いたしました。

内容といたしましては、この管理棟の１階にございます電気室内に平成３０年度から製造をしておりました、新設の受変電設備を電気室内に設置しました。

続きまして、配水管等の更新工事でございますが、まずは、工事箇所図の2枚目をご覧ください。

まずは、平成31年度配水管更新工事でございます。

工事内容といたしましては、配水管布設工「DIP-GX形」φ250ミリ、φ200ミリ、φ150ミリを692メートル、排気弁付消火栓、空気弁設置工を4基設置、給水管切替工事を7カ所、既設ダクトイル鋳鉄管等撤去工事を141メートル実施しました。

続きまして、工事箇所図の3枚目をご覧ください。

令和元年度配水管更新工事その2でございます。

工事内容といたしましては、配水管布設工事「DIP-GX形」φ150ミリを166メートル、空気弁付排気栓設置工事を1カ所、給水管切替工事を1カ所、市道舗装仮復旧工事を98平方メートル、既設石綿管モルタル充填工一式を実施しました。

以上が主たる事業でございます。

その他には、漏水修理工事を26カ所実施しました。

また、急速ろ過機の自動空気弁の修繕工事を実施しました。

以上が工事でございます。

続きまして、業務委託でございますが、平成30年度から実施しておりますメーター検針時同時漏水調査を引き続き実施いたしました。

実績としまして、一昨年10月から今年3月までで調査件数7,807件中、異音確認件数28件、宅地内漏水25件、公道漏水3件を発見しております。

また、平成30年度に発注しました、水道施設台帳作成業務でございますが、無事に今年3月に完成し、現在、運用しています。

また、令和元年度に発注した、経営戦略及び新水道ビジョンでございますが、令和元年はデータの収集を行い、現在、9月議会に諮るために調整をしており、その後、パブリックコメントを実施して、今年度内に完成させるべく作業を進めているところでございます。

以上が、令和元年度の主な事業です。

(会長)

事務局より説明がありましたが、質問等がありますか。

(委員)

決算書の6ページですが、年間総配水量が前年度に比べて6万7,900立方メートルも減っているにもかかわらず、収益に繋がる年間総有収水量が逆に2,134立方メートル増えているということは、有収率が前年度の82.8%から1.4ポイント上がって、84.2%に上昇したことに関連していると見て良いのでしょうか。

(事務局)

昨年度、根木名地先で実施した石綿管更新工事の影響で有収率がかなり改善されたと思われます。

(委員)

５ページの平成３１年度配水管更新工事について、配水管布設工で２５０ミリの配水管を６９２メートル布設していますが、既設管撤去工が１４１メートルということは差し引き５５０メートル程度が新設ということですか。

(事務局)

既設管撤去工の１４１メートルについては、国道部分になり道路管理者である成田土木事務所から撤去するように指導があったため、撤去しております。

(委員)

令和元年度配水管更新工事その２では、１６６メートルの配水管を布設しています。

その工事の中で既設石綿管モルタル充填工というのがありますが、これは埋め殺しするためですか。

(事務局)

石綿管を埋め殺しするためにモルタル充填を行っています。

(委員)

道路管理者とは協議はしていますか。

(事務局)

協議済みです。

(会長)

他に質問等がありますか。(なしとの声あり)

議題（１）「令和元年度富里市水道事業会計決算及び事業報告について」の採決を行います。本議題について承認（可決）される方は挙手願います。

挙手全員です。よって本議題は、承認（可決）されました。

本日の議題は以上です。

その他

(会長)

それでは、事務局から何か連絡事項はありますか。

(事務局)

次回運営協議会の開催予定でございますが、９月下旬を予定しております。

議題としましては「富里市水道事業経営戦略及び新水道ビジョン」を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

閉 会

(会長)

それでは、以上をもちまして令和２年度第１回富里市水道事業運営協議会を閉会させていただきます。